

# 題を問う

一般質問



早急な整備が望まれる中心市街地

## 中心市街地活性化計画の重点事業は何か

### 街並みの整備を総合的に検討する

**質問** 中央公園の再整備を図り、観光客の集客を。

**町長** 平成12年度に整備された中央公園は、さまざまな団体の環境美化活動に支えられ町民の憩いの場になっている。

今後は、中心市街地活性化基本計画策定の中で観光客の集客について考えていく。

**質問** 市街地道路の整備と商店街のリニューアルをはかれ。

**町長** 市街地の道路整備は前計画から継続した課題であり、歩道区間の配慮や沿道の景観形成、街なかオープンスペースの確保など、街並みの整備を総合的に検討し、商店街のイメージアップ及びリニューアルを図れるよう議論を進めていく。



しぎ はら とし みつ

鳴原利光 議員

### 公共施設等の案内標識の統一化を図れ。

**質問** 公共施設及び観光案内を含め、形状やデザインの統一化を図り、分かりやすく・見やすい案内標識の設置について検討する。

**町長** 公共施設及び観光案内を含め、形状やデザインの統一化を図り、分かりやすく・見やすい案内標識の設置について検討する。

### 75歳以上の町民に路線バスの運賃を無料化にせよ

#### 総合的に検討する

**質問** 高齢者のバス利用促進と高齢者の積極な社会参加の促進を図るため、路線バスの運賃を無料にする考えはないか。ちなみに福島市は

75歳以上の高齢者の市民、避難者の路線バス運賃は無料である。

**町長** 75歳以上の高齢者の方のバス利用など総合的に検討する。

### 子どもの屋内遊び場の設置は

#### 早い時期に設置したい

**質問** 町はいつになったら、子どもの屋内遊び場を設置するのか。屋内遊び場については、町内の幼稚園の空き保育室を改修し

て設置することとし、現在、最終的な調整を進めているところであり、年度内のできるだけ早い時期に設置したいと考えている。

### 退職理由はなぜ定着しないのか

#### 退職理由はそれぞれ異なる

**質問** 近年、定年退職を数年残しての早期退職、新規採用した職員が数年で退職し他の自治

体に採用されるなど、町役場に問題があるのではないか。

**町長** 早期退職した職員の退職理由は、家庭の事情などそれぞれ異なっており、町役場に問題があったものとは考えていない。

# 町の課



## 都市計画に基づく 道路等の整備進捗状況は

### 整備率は36.9%となっている



むら かみ げん きち

村上源吉 議員

**質問** 歩道等のバリアフリー整備は。

**町長** 鶴東川原田線の全区間2980m、壁沢川原田線の一部1240m、熊ノ宮赤坂線の一部280mについてバリアフリー化が終了しており、総延長は4500m、延長ベースでの整備率は36.9%となっている。



整備が遅れている中心市街地

**質問** 都市下水路等の整備は。

**町長** 都市下水路については、大作団地から川原田地内の延長270mの整備が終わっているが、町道新中町道線の歩道下の下水路（1500m）については、皆様が改修の要望をいただいているところであり、町としても第5次振興計



解体整地された工業試験場跡地

**質問** 利用計画は出来たのか。

**町長** 今後の工業試験場跡地の利用については、敷地面積が大きくまとまった土地であることから、できる限り震災復興に活用することし、民間の活用も視野に入れ、住宅地として利用することを検討しているが、跡地は町が借りている土地なので、土地の所有者とも十分に協議し、町及び地域にとって有効に活用できるよう、スピード感を持って具体的な活用案を検討していく。

### スピード感をもって活用案を検討する

## 工業試験場跡地の利用は

面に位置付けをしているところであるので、今後、国の補助事業の導入も視野に入れながら、事業実施の具体化に向け検討していく。

平成23年度県内実施対象市町村  
小児甲状腺ガン2次検査結果 (6月5日発表)

	1次検査 実施者 (人)	2次検査 対象者 (人)	2次検査 実施者 (人)	2次 検査率 (%)	悪性、悪 性疑い例 数(人)
川俣町	2,229	8	8	0.4	2
浪江町	3,161	24	20	0.8	1
飯舘村	937	6	5	0.6	0
南相馬市	10,436	50	44	0.5	2
伊達市	10,599	50	44	0.5	2
田村市	6,358	33	23	0.5	2
広野町	734	3	1	0.4	0
楢葉町	1,038	4	4	0.4	0
富岡町	2,072	9	7	0.4	1
川内村	262	4	3	1.5	1
大熊町	1,844	10	6	0.5	0
双葉町	881	3	0	0.3	0
葛尾村	179	1	1	0.6	0
その他	34	0	-	-	-
合計	40,764	205	166	0.5	11

生態系異常の実態と  
健康被害の対策を

情報収集と受診勧奨に努める

**質問** 甲状腺ガン検査2次検査の早期実施の対策は。

**町長** 2次検査は県民健康管理センターで対応しているので、町としては一次検査の受診勧奨に努める。

**質問** 生態系異常の実態を調査しているのか。

**町長** 調査には専門的な知識と経験が不可欠であることから、町としては国や関係機関からの情報収集と、アドバイザーとして協力してもらっている近畿大学の意見を参考にしていく。



かの きよ かず  
菅野清一 議員

避難区域の宅地、  
農地の除染計画の実態は

現在も地権者等と話し合いを続けている

**質問** 農地除染の契約金額、面積は。

**町長** 山木屋地区の除染について、国は平成25年3月11日に業者と契約をしており、契約金額は約187億5000万円、除染する農地の面積は約294ヘクタール

となっている。

**質問** 農地除染の仮置場の実態は。

**町長** 山木屋地区11行政区のうち、4行政区については、現在も地権者等と話し合いを続けている状況にある。

緊急時の定義と積算線量での  
区域再編に整合性はあるのか

法的には問題ないと考える

**質問** 積算線量での再編で地域再生が可能かどうか。

**町長** 区域見直しを行うことで立ち入りの制限が緩和され、復旧・復興事業を進めることが可能となり、帰還に向けた環境が整備されると考える。

**質問** 提示されている賠償額で具体的な生活再建は可能か。

**町長** 町としては賠償を進め、生活再建について考えるためにも、区域見直しを行い、速やかに賠償についての住民説明会を実施したい。

**質問** 積算線量での区域割りは、憲法第13条、同第25条、同第29条との関係で法的に問題はないか。

**町長** 法的に問題はないと考える。



水田を仮置場にする環境省の農地除染？

# 復興計画の見直しは

## 今月中に策定する

**質問** 平成24年3月5日に策定した「復興計画」は早急に見直すとして1年間答弁しながら、一度も復興会議を開催せず見直しをしていなかったが、今度は完了したのか。

**町長** 平成25年5月1日と5月30日に復興会議を開催し、委員の方々から環境回復、健康管理、避難者支援、新たな産業の創出などご意見を頂いたところで、今後は町議会に対して説明を行い、意見などを頂きながら、今月中には第二次復興計画を策定する。



人気のないJAスタンド

### 山木屋地区の将来ビジョンは

一日も早い山木屋地区の復興を目指す

**質問** ビジョンなくして計画はないが、町長は山木屋地区の将来ビジョンをどのように考えているのか。

**町長** 山木屋地区の将来ビジョンについては、第5次振興計画の中で「豊かな自然を後世ま

### 山木屋地区の「区域見直し」の提案は

協議しながら進めていく

**質問** 山木屋地区の「区域見直し」を議会になぜ提案しないのか。

**町長** 去る6月4日の議会全員協議会において、「山木屋地区復旧・復興に関する町の方針」として区域見直しについて提案、説明をしたところであり、今後は、議会や住民の皆様との協議により、区域見直しを進めていく。

### 25年度には完了できないと認識している

**質問** 山木屋地区の除染は平成25年度に完了すると環境省は言っているが、町長は本音はいつ完了すると考えているのか。

**町長** 平成25年度には完了できないと認識している。



たか はし みち ひろ

高橋道弘 議員



荒れ果てた水田

## TPPに参加した場合、日本の農業・農村はどうなる？

### 〈農林水産省の試算より〉

～目標とする食料自給率50%達成と大きく矛盾～

■ 農林水産省の影響試算では、TPPに参加すると、日本の農業・農村は、壊滅的な打撃を受けてしまいます（米、小麦等の19品目を対象として、全世界を対象に直ちに関税を撤廃し、何らかの追加対策も講じない条件で試算）。

**食料自給率（カロリーベース）** 40%⇒14%程度  
国内農産物の大幅な減少により、食料自給率は大幅に低下します。  
(平成21年度の食料自給率40%をもとに試算。平成22年度の食料自給率は39%)

**国内農産物の生産減少額** ▲4兆1千億円程度  
内外価格差が大きく、外国産との品質的な優位性がない品目は、市場を失い生産が大幅に減少して半減します。主食の米が約2兆円と損失額のおよそ半分を占めます。

**農業の多面的機能の喪失額** ▲3兆7千億円程度  
耕作放棄地の増加等により、環境機能、景観の保持、水源のかん養などの農業の多面的機能が喪失します。

**GDP（国内総生産）減少額** ▲7兆9千億円程度  
関連農産物加工業への直接的影響に加え、生産資材、飼料、農業機械等の製造業、運輸業など地域経済に影響が波及します。

**就業機会の減少数** ▲340万人程度  
農業、食品産業その他関連産業の生産額が減少し、地方を中心に340万人分の就業人口が喪失します。

## TPP交渉参加阻止に全力を

### 参加しないよう強く求めていく



いし かわ きよし

石河 清 議員

#### 質問

TPP交渉参加は本町農業・産業・地域経済に深刻な打撃を与えることは明白である。町として今後さらに強く国及び関係機関等に働きかけるべきではないか。

#### 町長

TPPが町の産業・経済へ計り知れない打撃を被ることは明白であり、全国町村長大会においても「地域経済・社会の崩壊を招くTPPには参加しない」としている。町としては今後もこの決議に基づき、福島県町村会や全国町村会と連携を図り、国に対してTPPに参加しないよう強く求めていく。

## 除染の促進を

### 確認しながら進める

#### 質問

本年度の農地除染は昨年同様、川俣方式により実施することだが、各地区ごとの契約農家戸数と面積はどのようになっているのか。

#### 町長

本年度の契約状況は、秋山地区24戸、2・8ha、羽田地区13戸、2・7ha、鶴沢地区18戸、2・0ha、小神地区14戸、2・1ha、東福沢地区13戸、1・8ha、西福沢地区13戸、1・4ha、川俣5戸、0・5ha、大綱木7戸、1・2ha、小綱木16戸、5・8ha、飯坂21戸、3・6ha、小島17戸、3・2ha、町外7戸、1・9ha、合計で168戸29haとなっている。

#### 質問

昨年実施した土壌検査の結果や線量マップの作成はどのようなになっているのか。

#### 町長

土壌検査の結果については、「土壌分析結果の見方」という説明資料を同封し、5月24日に各農地除染契約農家の方々に送付している。また線量マップについては、空間線量と土壌調査結果を同一の図面に整理

している。

#### 質問

早急に効果的、効率的な手法を示し、耕作放棄地の除染に取り組むべきではないか。

#### 町長

耕作放棄地の除染については、適切な手法を早急に示すよう国に要望する。なお、住宅周辺の耕作放棄地については、生活圏周辺の除染作業に必要な場合には、落ち葉の除去、除草作業などは交付金の対象になるので、現状を確認しながら進めていく。

#### 質問

本町には除染の対象となるため池や用水路は何か所あるのか。ため池の土砂などの除染となれば、かなりの仮置場が必要になると考えるが、当局の取り組みと対応は。

#### 町長

本町にあるため池は27箇所です。それらの除染については、国・県から示される資料をもとに具体的な除染の実施計画を作成するとともに、仮置場についても検討していく。

# 町は町民の賠償請求の先頭に立て

## 機会あるごとに要請していく



えん どう むね ひろ

遠藤宗弘 議員



大きく損壊した原子炉建屋（東京電力福島第一原子力発電所）

**質問** 原発の一番近くに  
住み続けている自治体として、住民の精神的損害について、発生時から1カ月5万円程度の賠償を、町当局が先頭に立って求めていくべきと考えるが当局の考えは。

**町長** 町としては、原子力損害賠償紛争審査会に対し、住み続けている住民の精神的損害についても賠償の対象にするよう要請を行っているところであり、今後も機会あるごとに要請していく。

### 大震災、原発事故による

### 川俣の被害は

### 一日も早く作成する

**質問** 大震災で川俣町は受けたのか、議会のたびにまとめると答弁しているが、未だに明らかにさ

れていない。3年たったら時効だとしても言うつもりなのか。いつになったら全貌がはっきりするのか。

**町長** 資料の収集、確認、整理に非常に手間取っている現状にあるが、今後は、収集した被害情報や災害対応、活動記録との付け合わせ作業を行い、一日も早く作成させたい。

### 町役場建設はいつか

### 平成28年3月の完成を目指す

**質問** 町役場の建設については何の報告もないが、せめて議会にはいつまでに建設して公民館を町民に明け渡すのかぐらゐの計画は示すべきではないか。

**町長** 役場庁舎については、現在、平成28年3月の完成を目指して進めているところであり、中央公民館と保健センターを利用されている町民の皆様には大変なご不便をおかけしているが、平成28年4月からは従前のとおりご利用いただけるも

のと考えている。今後は、議会への報告、協議を随時行うとともに、町民の皆様へもより多くの情報を提供し、ご意見をいただきながら、より良い庁舎の完成を目指していく。



震災により大きく損壊した役場庁舎

# 議会だより編集委員会報告

議会だより編集委員会は、6月27日～28日の2日間の日程で、宮城県七ヶ浜町と岩手県雫石町を訪問し、研修してきました。

また、7月1日に議会広報研修会が郡山市の「ビッグパレットふくしま」で開催され、参加してきました。

## 宮城県七ヶ浜町

七ヶ浜町の議会だよりは、「住民が読むものである」という基本を常に念頭に置き、読みやすい紙面づくりを心掛けています

が、単に読み易さだけを追求するのではなく、議案毎の個々の議員の賛否も一覧表形式で掲載するなど議会の情報を正確に伝えることも意識しており、非常にバランスのとれた紙面になっていると感じました。

編集作業は、編集



あいさつする齋藤委員長

委員がそれぞれ紙面を担当していますが、任期中（2年間に担当する紙面をあらかじめ決めており、

各委員が手書きで作成した原稿を事務局の職員が専用のソフトウェアを使ってデータ化し、印刷所に持ち込み印刷するという流れになっています。また、議会だより発行に当たっての手順や決まりごとなどもマニュアル化されており、統一性のある編集が可能になっている点も大変参考になりました。

## 岩手県雫石町

雫石町の議会だよりも非常に読みやすい紙面になっていますが、七ヶ浜町の議会だより同様、賛

## 郡山市 ビッグパレット

親しみのもてる議会だよりを！

7月1日に郡山市の「ビッグパレットふくしま」において、福島県町村議会議長会主催の議会広報研修会が開催されました。広報編集コンサルトの芳野政明氏を講師に迎え、研修会は2部構成で行われました。

否の結果なども掲載しており、議会の情報を知り伝えることにも十分配慮した内容になっています。

編集作業は、一般質問や本会議の部分については編集委員が担当し、その他の記事は事務局の職員が担当しています。

また、編集会議には印刷業者も同席していることから、レイアウト等について直接協議することが可能になっています。雫石町の議会だよりで



広報研修会の様子

前半は議会だよりを編集するうえでの基本的な

の持てる広報誌づくりを心掛けていきます。考え方や編集作業のポイントなどについて話しがありました。後半は議会広報紙のフリニックが行われましたが、それぞれ記事の内容や読み易さに工夫が凝らされており、大変参考になる研修会でした。今後は、今回の研修会で学んだことを活かし、読者の皆さまにとって、より読み易く、より親しみの持てる広報誌づくりを心掛けていきます。

最も特徴的なのは、全国のほとんどの議会広報紙が主に縦書きを採用しているのに対し、平成15年から横書きに変えていることです。その理由は、単に「目先を変えたかった」ということのようなですが、現代社会では横書きが主流であることを考えると、大変参考になる取り組みでした。



研修する編集委員

# 復興庁参事官 ツイッターで暴言!

6月13日の毎日新聞で復興庁参事官のツイッター上での発言が大きく取り上げられました。その内容は、原発事故という未曾有の災害からの復興を担う復興庁の幹部職員にあるまじき内容であり、中には明らかに本町議会を嘲笑する内容の発言もありました。

## 経過

■6月13日

毎日新聞に復興庁水野靖久参事官のツイッター上での暴言が報道され、その中に本町議会を嘲笑する発言があることが判明しました。

■6月14日

復興庁の谷公一復興副大臣、浜田昌良副大臣、岡本全勝統括官、丸山淑夫福島復興局長が来町し謝罪。(議長、副議長が対応しました。)

議会として、根本復興

大臣と参事官本人が来町し事情を説明するよう要請しました。

副大臣からは、国会の会期が26日までなので、調整を図ったうえで後日連絡するとの回答がありました。

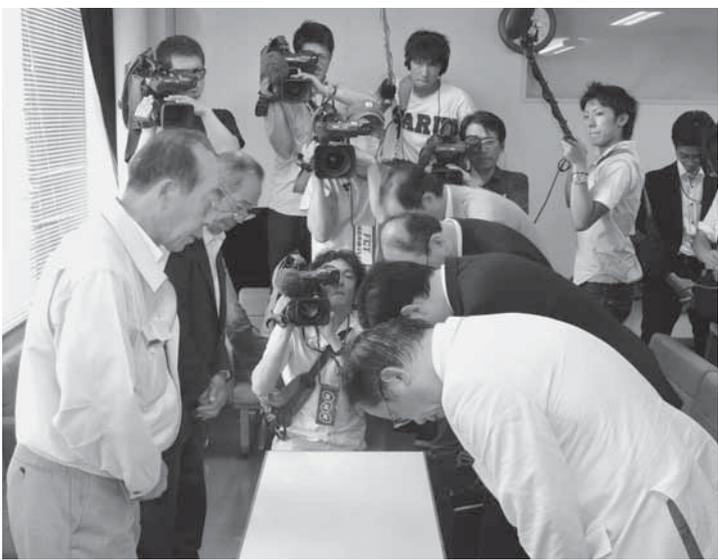
## 【6・14 復興副大臣との会見要約】

谷副大臣 今回、復興庁職員がツイッターで不適切な書き込みを行ったことは、誠に遺憾で許しがたいことであり、誠意をもって復興に当たらない

ればならないものをこのような姿勢で対応したことは誠に残念であり、お詫び申し上げます。

水野参事官は担当からはずし、厳正に処分する。議長 今回の書き込みは、川俣町議会を指しているかは明記していないが、昨年の11月15日に水野参事官が出席した会議は本町の全員協議会である。

水野参事官のツイッター上での発言は本町議会を愚弄するものであり許しがたいものだ。復興大臣と水野参事官



副大臣等の謝罪 (6月14日)

■6月20日

全員協議会で対応について協議。復興庁の都合に合わせてるのではなく、正副議長、各常任委員長で復興庁に出向き抗議することになり、その旨復興庁に連絡をしましたが、復興庁からは明日21日に川俣町を訪れたいとの回答があり、議会としてはそれを受け入れることになりました。

## 処分の内容

復興庁統括官付参事官

水野 靖久 停職30日

復興庁事務次官

中島 正弘 戒告

復興庁統括官

岡本 全勝 戒告

※なお、処分ではありませんが、せんが、根本復興大臣が1カ月の給与の自主返納を行いました。

■6月21日

復興庁浜田副大臣、岡本統括官、丸山復興局長他が来町し、今回のツイッター事件に対する復興庁としての処分については報告があり、議会からは復興復興庁職員の意識の向上と、被災地の状況を十分に理解し対応できるような職員の長期派遣をお願いしたい旨、要望しました。

# 町民の声

## 私のひと言



### よそからの 川俣町

西福沢  
菅野義昭さん

「川俣町の人はまだ良い方よ、町内に居られるんだもの。私なんて初めての所に来て先着きの分からない暮らしを続けるしかないんだよ。」

「ホントに…？それでも避難先が遠くでも近くでも自分が育ち、子どもたち、家族を守るために汗水を流して守ってきた土地や家を離れる気持ちは同じだからね、早く帰れっといいいない。」

仮設住宅に暮らす方が、私が川俣の者と知って、また、被災地の情報には詳しく自分の帰郷の夢を描くことのできない悔しさを熱く語りかける姿には、一連の原発事故の重大さ、深刻さを改めて痛感させられました。

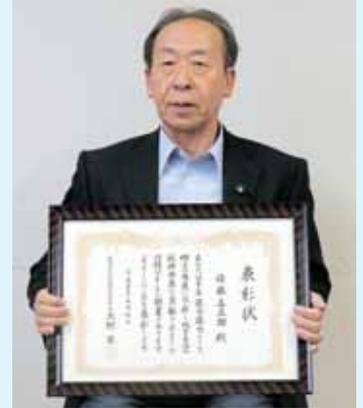
先日、山木屋地区の除染作業を見ましたが、全く異様な光景です。

しかし、この作業を終えなければ、帰還は無論、農地の耕作はできない訳です。ならば、もっともっと人員を投入して土が凍る前に、雪が降る前に除染作業を進めて欲しいと考えるのは私ひとりの愚考なのでしょうか？

除染作業には幾多の問題があると思いますが、町内の除染作業が無事故で遅延なく終わることを切望するとともに、「郷土川俣」を元の町に戻し、明日の展望を語る日が一日も早く実現することを望みます。

## 栄えある表彰

6月6日に福島県町村議会議長会定期総会が開かれ、その席上、佐藤喜三郎議長が議長職6年在職の功績により、自治功労者として表彰されました。



## 庁舎建設特別委員会研修報告

7月16日に国見町と宮城県大和町を訪問し、研修してきました。

### <国見町>

国見町は震災によって役場庁舎が使用不能となったため、役場機能を観月台文化センターに移転していますが、早ければ今年9月末には着工される見通しとなっており、着工までの事務手続き、迅速な対応など大変参考になりました。

### <大和町>

大和町の役場庁舎は平成22年3月に完成したばかりの新しい庁舎で、実用性を重視した造りになっており、事務スペースよりも窓口の前に広いスペースを確保するなど、来庁者が快適に利用できる庁舎になっています。



宮城県大和町役場

## 編集 後記

東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所の事故から早や2年4カ月余りが過ぎてしまいました。

その間、議会は、町の復旧・復興、除染、補償等の問題に毎週全員協議会を開き議論を重ね、早期の解決に努めてまいりましたが、遅々として進まない問題の進捗に対しての町民皆様の苛立ちの声に残念ながら答えるまでには至っておりませんが、これから町と共に粘り強く問題の解決に取り組んでまいりますので、皆様の声を遠慮なく聞かせてください。  
(高橋道也)

### ◇議会だより編集委員

- |    |    |      |     |     |
|----|----|------|-----|-----|
| 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 議長  |
| 吉也 | 源道 | 上橋   | 村高  | 佐藤  |
|    |    |      |     | 喜三郎 |
|    |    |      |     | 藤博  |
|    |    |      |     | 美   |
|    |    |      |     | 意美子 |
|    |    |      |     | 菅野  |
|    |    |      |     | 斎藤  |